

## 令和4(2022)年12月 軽自動車新車販売速報

令和5(2023)年1月5日  
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

全国軽自動車協会連合会（会長：赤間俊一、略称：全軽自協）の調べによる令和4(2022)年12月の軽自動車新車販売台数(新車新規検査台数、トレーラー等を除くナンバーベース)は、全体で135,275台、前年同月比15.0%増となり、4か月連続のプラスとなりました。

車種別では、乗用車が103,538台で前年同月比16.5%増(4か月連続増)、貨物車が31,737台で同10.1%増(6か月連続増)。貨物車の内訳は、ボンネットバンが3,751台で前年同月比20.4%増(5か月連続増)、キャブオーバーバンが15,826台で同12.2%増(7か月連続増)、トラックが12,160台で同4.8%増(5か月連続増)となっています。

この結果、令和4(2022)年の年間新車販売台数は1,638,137台、前年比0.9%減となり、4年連続のマイナスとなりました。

年間販売台数の内訳は、乗用車が1,224,995台、前年比4.0%減(4年連続減)、貨物車は413,142台で同9.7%増(3年ぶり増)。貨物車の内訳は、ボンネットバン38,984台で同34.6%増(3年ぶり増)、キャブオーバーバン206,008台で同12.7%増(2年連続増)、トラック168,150台で同2.0%増(4年ぶり増)となっています。